

Title	中国研究集刊 結号（第42号） 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	中国研究集刊. 2006, 42
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/61023
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

・『中国研究集刊』第四十二号(結号)を、深い感慨とともにお届け致します。『中国研究集刊』が創刊されたのは、昭和五十九年(一九八四)六月。創刊号から第二十一号(往号)までの編集責任者を務められのは、加地伸行先生(大阪大学名誉教授、同志社大学専任フェロー)でした。その後を継承した筆者には、当時、「二十一」という数は永遠の彼方にあるように感じられました。しかし、ふと気がつくと、本号によって、同じ号数を重ねることとなったのです。もともと、これには、近年の特殊な事情が関係しています。それは、新出土文献研究の急展開によって、別冊特集号を組む機会が増えたことによります。別冊としては、第三十三号の「新出土資料と中国思想史」、第三十八号の「戦国楚簡研究2005」、そして本号と同時に刊行した第四十一号の「戦国楚簡研究2006」があります。別冊特集号を刊行した年は、通常号と併せて年三冊の編集に追われることとなります。関係各位ならびに研究室の助手・院生諸君の献身的な協力がなければなしえなかったことでしょう。「四十二」とは、また男の厄年の

年数とも言われます。しかし、『中国研究集刊』は、号数の重みに負けることなく、今後も、優れた論考を掲載し、意義ある特集を組んで参りたいと思えます。会員各位の一層の御支援をお願い申し上げます。

・去る平成十八年十月二十八日、日本道教学会第五十七回大会が大阪大学で開催されました。大阪大学中国哲学研究室は、大会準備校の任を命ぜられ、約一年前から準備に当たりましたが、このたび、各位のご協力により、恙なく大会を終えることができました。この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。本号には、その大会の概要を報告しております。

・第四十号の編集後記で御案内申し上げました、『中国学の十字路―加地伸行博士古稀記念論集―』(研文出版)は、お陰様で残部僅少となりました。御報告少々御礼申し上げます。

(湯浅邦弘)

Bulletin of Chinese Studies

中国研究集刊

ISSN 0916-2232

編輯・発行

学術刊行物指定

結号（第42号）2006年12月1日刊

大阪大学中国哲学研究室

大阪大学中国学会

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5

大阪大学大学院文学研究科中国哲学研究室

電話 06-6850-6111（内線2128）

平成5年郵政省告示第322号

印刷・天理時報社